

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1321 2015年8月23日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は 9月17日(木)です

午後4時~6時 (要予約)

平塚市議会8月定例行政報告会について

8月18日(火)に8月度の定例行政報告会が開催され、行政側より各議員に以下の案件についての説明・報告がありました。尚、条例改定等については、市議会9月定例会に提案される予定です。

○(仮称)次期平塚市総合計画の策定経過について

国が作成した「まち・にと・しごと創生法」に基づき、地方でもこれに沿った地方版総合計画を今年度中に作成することが求められています。私たち議員団は6月本会議では、この創生法の問題点を指摘しました。市の検討体制と経過についての説明がありました。

1) 庁内策定委員会 5月より月1回開催

2) 職員プロジェクトチーム

関連部署から選出6月より週1回程度開催

3) 総合計画審議会

公的団体・学識経験者・公募市民・職員等22人の委員で構成。議員団からは入れませんでした。議員も2名参加。8月6日に第1回目を開催。

○平成26年度一般会計決算の概要について

○平塚市国民保護計画の変更について

○平塚市庁舎・平塚税務署新築工事(庁舎棟・建築)の建設発生土について

○平成27年10月期組織改正について

10月から番号法(マイナンバー制度)施行に伴い、通知カードに関する事務及び来年1月からの個人番号公布準備のための組織変更。

市民課内に個人番号カード交付担当を新設

○平塚市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例(案)の概要について

番号法施行に伴い、地方公共団体(自治体)が個人番号の利用範囲や提供範囲を規定するための条例策定。

議員団は、プライバシー侵害・なりすまし、社会保障費の削減の恐れなど問題が多く、実施自体に反対しています。

○平塚市特別職員の給与に関する条例及び平塚市教育委員会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例(案)について

○平成26年度病院事業決算について

戦後70周年・核兵器廃絶都市宣言30周年

多くの市民が平和を願い「市民平和の夕べ」開催



大池に浮かぶ灯ろう 奥は高校生の合唱

8月16日(日)、今年も「市民平和の夕べ」が開催され多くの市民が参加しました。思い思いに平和を願う言葉を灯ろうに書いて大池に流しました。水面に映る灯ろうの淡い光と高校生の歌声が厳かな雰囲気をかもしだしていました。

市民参加のI LOVEPEACE事業運営委員会が主体となって運営しています。灯ろう流しのほか、平和の折鶴、すいとん、平和の署名コーナーなどが取り組みられました。小さな子供さんを連れた多くの家族が参加していました。



運営委員の皆さんが3時頃から灯ろうの台を組み立てました。議員団の高山和義議員も運営委員として毎年参加しています。



子どもも大人も平和への思いを書き入れています。

被爆アオギリの苗木が植樹されました

今年は、核兵器廃絶平和都市宣言30周年の記念事業として、広島県の爆心地から1,300kmで被爆したアオギリの種から発芽した苗木を総合公園市民の原っぱの一角に植樹しました。平塚市も参加している平和市長会で要請し苗の寄贈が実現しました。大きくすくすくと育て、戦争をしない平和な日本・平塚市を見続けていくことを願っています。



落合市長、I LOVEPEACE事業運営委員長、広島派遣児童・生徒代表が植樹しました。写真は市長と児童代表。

教育民生常任委員会行政視察の報告

視察先：新潟県長岡市、新潟市 視察日：7月23日・24日

報告者：高山和義議員

【新潟県長岡市】7月23日(木)

○「学校・子どもかがやき塾」「教員サポート錬成塾」について

長岡市は人口約28万人、平塚市(人口約26万人)と人口では若干多い自治体です。市域面積で平塚市の約13倍という広大な面積があります。平成17年から22年にかけて旧長岡市と11の町村が合併をして、新潟市に次ぐ人口規模の現在の長岡市が誕生しました。

どの子にもわかる授業を目指して

「学校・子どもかがやき塾」は、子どもたちに夢と希望を持たせ、やる気や学ぶ意欲を引き出すことを目的に、学校ごとに創意工夫して特色ある教育活動等を取り組むというものです。すべての小中学校で様々な取り組みがされています。行政は財政支援を行っています。

説明を伺ってまず第1に、教育に対する捉え方がはっきりしていると感じました。担当の職員は「数値(学力)が上がることで評価していない」と述べられていました。教育委員会の指針は「志を立てる力と生き抜く自信を育む」ための教育が土台になっていると強く感じました。

第2に、自由に使える予算を各学校に平均40万円配分し、さらに、夢企画(希望校から選択、30~50万円財源上乘せ)については子どもたちの立案や、保護者・地域住民の願いがその選考基準としているように、子どもたちの自発的な取り組みを重視していることに感心させられました。

いじめ対策は教育スタッフの充実でこそ実現できる



長岡駅に直結しているアオーレ長岡(長岡市庁舎市民課及び福祉窓口を配置)。

4階建て建築費130億円と聞いて唖ってしまいました。市庁舎の一部と文化施設(体育館・ホール等)が一体となった複合施設。

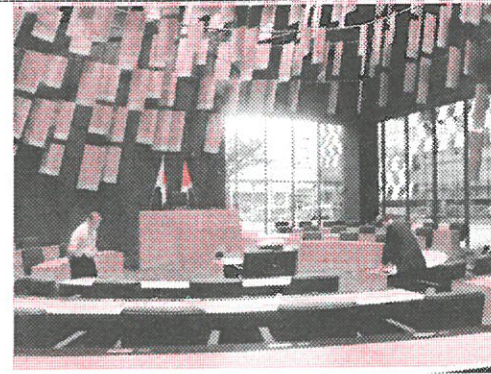
第3に、いじめや不登校、親の貧困による格差など個別の対応を取る必要のある事例は解消されていないとのことでした。平塚市でのサン・サンスタッフの拡充や地域との連携などをさらに強化することが必要であるとの思いを強く感じました。

県も市も少人数学級を積極推進

第4に、視察課題とは直接関係ありませんが、小中学校の数と学級数・人数に感動しました。小学校は60校あり、中学校も27校あります。特に小学校では、1学年1クラスの学校が多く、少人数学級が徹底していることです。新潟県としても、小学1・2年生は32人学級、小学3年生~中学3年生までは35人学級とのこと、神奈川県との統廃合の方向とは大きな違いです。



ワンストップ窓口
市民は移動しないで、関係する部署の担当職員が窓口に来て相談を聞きます。



1階に在り外から見える長岡市議会議場。傍聴者が増えているとのこと。

次に、「教員サポート錬成塾」今年で13年目を向かえる事業で、校長OBが若手教員をマンツーマンで指導するというものです。人間性も含めた教師としての資質・能力の向上を図ることを目的としています。教員経験2年~6年目を対象にしたベーシックコースと、教員経験7年目以上のクリエイティブコースがあります。すでに900人以上の教員が研修を受けているとのことでした。

説明をお聞きして感じたことは、振り返りには有効であり、自信をもって授業をすすめることができる教員を養成する取り組みの一つとして注目できます。また、学校を超えた研修生同士の実習や発表会などグループでのサポートは相互に協力し合う意味で有意義と感じました。学校内での教員集団としての助け合いやサポートのあり方、一人の元校長OBがマンツーマンで指導することによって指導が一律となり研修する教員の自主的な発想や授業の進め方が生かされないことはないのかが気になりました。

【新潟県新潟市】7月24日(金)

○地域コミュニティの推進について

新潟市は平成17年に近隣の13市町村が合併し、人口約81万人、新潟県の県庁所在地であり県内唯一の政令指定都市です。

地域に根付く自治の意識「分権型政令市」

各地域のコミュニティを発展させ、まちづくりに市民が主体的役割を果たしつつ、地域のことは地域で考え解決を目指す「分権型政令市」実現を行政の基本理念としています。「分権型政令市」実現のために①地域コミュニティ協議会②区自治協議会③大きな区役所④自治基本条例の4つの仕組みが作られました。

市内は8行政区に分割され、市内全域において、概ね小学校区を単位とする99の地域コミュニティ協議会が結成されています。区全体の課題は区自治協議会で協議されているとのこと。

地域自治の核となる組織としての地域コミュニティ協議会は、市・区の押し付けにならない活動・金は出すが口は出さないをモットーにしているとのことですが、地域ごとの活動や意識の格差は大きく、今後の課題であるとのことでした。

また、自治会は2,069単位自治会あるが、連合自治会がない地域もあり、地域コミュニティ協議会に切り替えてしまった連合自治会もあるとのこと、地域コミュニティ協議会と連合自治会の役割分担が十分に整理されていない面もあるとのことでした。

視察課題と直接は異なりますが、市議会に全ての区長が出席し、市議会議員の質問等に直接答弁する。市の事業であっても、区長会議に諮り了承されないと事業が施行できない。区が市に対し予算要望(区の独自予算以外でも)をすることができる。など、区の権限がとても大きいことが「分権型政令市」新潟市の行政運営の特徴であり、地域コミュニティ協議会を中心とした住民自治の根幹になっているとの思いを強く感じた視察でした。